

令和4年度 遠野市立小友小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立小友小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 時間外在校等時間が60時間をこえる職員はいない。
- ◆ 複式学級を有しており、業務過多となっている部分もある。
- ◆ 毎週水曜日はノー残業デーとしており、職員ははやめに退庁している。

目指す姿

- ◆ 教職員が気持ちのゆとりをもち、じっくりと一人ひとりの児童と向き合い教育活動を行っている。
- ◆ 管理職が職員をよくみて、声をかけ、風通しのよい職場づくりを行っている。
- ◆ 勤務時間内に業務を終了する意識化を引き続き図っていく。

働き方改革の重点取組

取組① 業務量の削減

- ◆ 校務支援ソフトを各自が活用し、さらに校務の連動を図る。(学校日誌、行事アンケート等)
- ◆ 会議の必要性を精査するとともに、会議資料も事前配付するなどし、極力短い会議とする。

取組② 業務分量の調整の推進

- ◆ 管理職が日常の職員の様子をみて、臨機応変に授業の支援等を行う。
- ◆ 主任層に対して、空き時間を確保するなど業務時間の捻出を図る。

取組③ 業務改善の実施

- ◆ ノー残業デーは引き続き取組として行い、時間内に業務遂行していく。

具体的成果目標	関係する重点取組
目標① 時間外在校等時間の60時間以上を0人に保つ	①、②、③
目標② 教職員全員が月に1回以上定時退庁をする	③
目標③ 職員会議の実施時間を1.5時間以内にする	①